



ひらた研一

Kenichi Hirata 2003.07 Vol.01

発行：ひらた研一事務所
TEL&FAX: 0774-33-8199
E mail: hirata@wao.or.jp
http://www.wao.or.jp/hirata/

市議会ニュース

まち(宇治)づくりは、人づくり

皆さま、ご無沙汰しておりますが、いかがお過ごしですか？

4月27日、1,823票ものご支持を頂き、議会へと送って頂きました。責任の重さをひしひしと感じると共に、2月8日に立候補を決意してから、当選するまで3ヶ月にも満たない政治活動の期間でしたが、意思表示をした瞬間から、ほんとうに沢山のの方に、今の宇治市のまちづくりに対する不満や改善すべき点を指摘されました。

このご意見の一つひとつが、私にとって財産であり、活力です。

現状に満足されている方は少なく、いろんな事に『何か、おかしい?』と感じておられる方が沢山居られるということが分かりました。

ひとりの力は、微力です。しかし、皆さまの声を集めれば大きなエネルギーになります、皆さまの代弁者として、また、自分自身の夢の実現に全力を尽くす所存でございます。

私の夢、それは『自立と共生』社会の実現です。



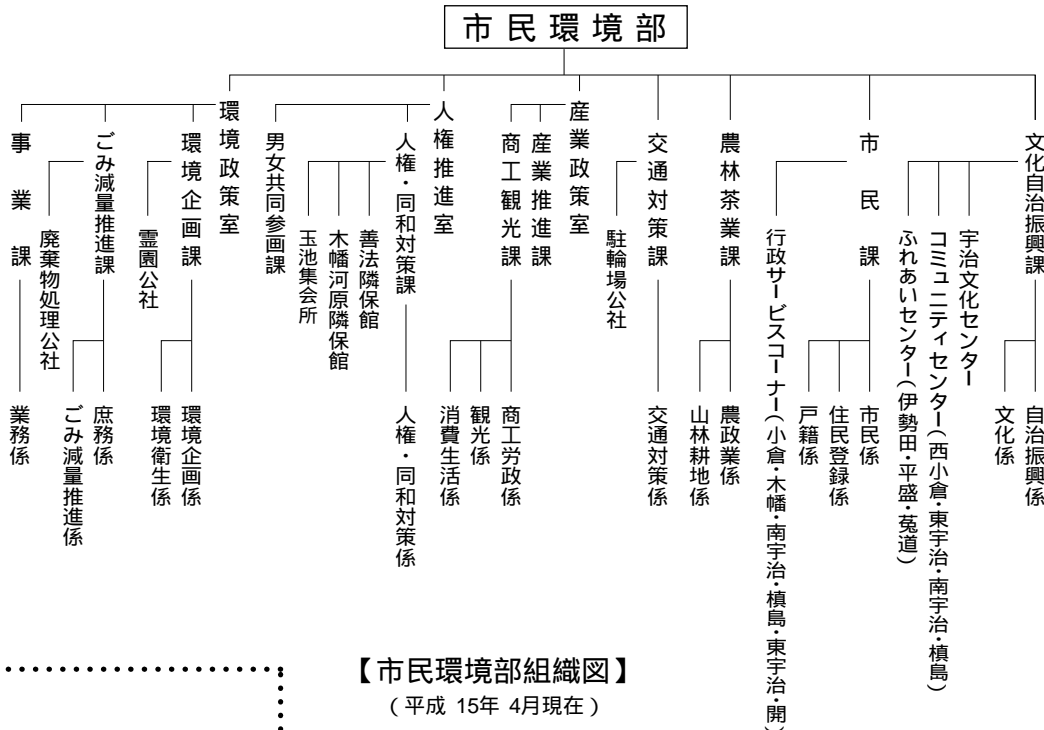
臨時議会、大荒れに荒れ40数年ぶりの流会、人事の難しさを身を持って体験しました。

そして、私は市民環境常任委員(通称：市環)に決定！市民生活に最も密着した問題を扱う委員会です。

別表に、市民環境部の担当課を記載しております。

当初、文教福祉や建設水道などの話もありましたが、市環に決まり意外かも知れませんが、私はとても喜んでおります。

実は興味が有りながら、体系的に勉強した事がなく、このような機会がなければ真面目に取り組まなかったかもしれません。その結果、現在『何か、おかしい?』こと続出中！



児童虐待のない宇治市に!



衆議院議員 民主党「次の内閣」厚生労働副大臣
山井和則 (宇治市大久保町在住)

平田研一さんは、「子どもの居場所づくり」に力を入れ、日夜、飛び回っておられます。そんな平田さんと共に、私が、取り組んでいるのが児童虐待の問題です。

日本での児童虐待は、年に約2万4000件。10年前の15倍に増えていきます。親から殴る、蹴るの暴力を受けるケースが一般的です。しかし、最近では性的な虐待や、ネグレクト(無視)と言われる育児放棄も増えています。

私は宇治市大久保町に住んでいますが、大久保町に児童相談所があります。この児童相談所は、京都南部全体をカバーしています。ここでも103件(平成14年度)の児童虐待が起こっています。13名まで、緊急一時保護で、この児童相談所に子どもは避難できます。

虐待が発見された場合、子どもは児童相談所に一時保護され、その後、

児童養護施設に移り住みます。

私は、先日、ある児童養護施設を訪れました。

ある小学生は家では1ヶ月、お風呂に入れてもらえませんでした。そのため、施設に入所したときには、全身が垢(あか)まみれで、髪の毛も汗で固まってしまっていました。親が子育てを放棄していたからです。また、ある小学生は、児童養護施設で食事のときに何度もご飯のおかわりをしました。家では三度の食事を十分に食べることができなかったからです。

私は現在41歳です。大学時代に、「母子寮」という児童福祉施設でボランティア活動をしていました。母子寮で、夫からの暴力(DV)から逃げて駆け込んでくるお母さんや、親の虐待から逃げてくる子どもたちに出会い、私は、苦しんでいるお母さんや子どもたちの役に立つ人生を送りたいと切に願いました。

この秋には児童虐待防止法の改正が国会で審議されます。子どもたちの声なき声を代弁するため、国会で頑張ります。

(私の国会報告は、詳しくは、ホームページ <http://www.yamano.net>をご覧ください。お問い合わせやご相談は、山井和則事務所：TEL.0774-54-0703まで)

6月定例議会 ひらた研一 一般質問

質問項目	具体的な質問内容	答 弁
市長の 市政運営	市長の、宇治市における立国論は沢山ありすぎて総花的！ 限られた予算の中、最重要課題を明確に示し見合った予算配分とする必要があるのでは？	重点的課題として取り組んでいるのが、都市基盤整備・生活基盤整備のうち公約として約束した事業、あるいは宇治市が当面する課題に対応した事業
	「個性あふれる地域づくり」の、地域とは？	必要なニーズに対応する規模（効率的かつ効果を発揮できる規模）
	地域づくりは人づくり、その原点は学校教育であると思うが、市長の見解は？	学校施設は地域のコミュニティの核となる施設 地域と行政の関わりでは「市民が主役の街づくり、地域が主役の夢づくり」を市政推進の柱として位置付け、住民の協力、協働が無ければ達成できない課題も多くなる
統一自治体 選挙投票率	市議選の投票率が過去最低の46.93%、公営掲示板・投票所は適正に配置されているか？	投票率の問題は、有権者の自覚の問題、選管だけでは克服できない。 掲示板・投票所とも基準の範囲内の数であるが、場所が適正でない箇所もあり適正配置に向け努めていく
教育行政	子どもの居場所づくりについて 昨年度、本年度と継続事業にも関わらず助成金に大きな違いがあるが、整合性はあるのか？ 未だ取り組みの無い学校に対し教育委員会はどのような指導を考えているのか？	昨年度はモデル事業であり、活動用具の購入を中心に子ども居場所づくりの環境整備を図るために執行 今後も全小学校区で推進されるよう、情報提供や相談、支援を行う
	学校施設の安全性について 文部科学省の「学校施設の耐震化推進について」の報告書の中に「耐震化優先度調査」が盛り込まれたが、この内容に沿って安全確認をする必要が有るのでは？またその結果は公表されるべき	文部科学省の指針に沿って、「優先度調査」を実施し学校施設の耐震化を図る 結果の公表は今後の対応策も含めて早急に対応
	学校施設のバリアフリー化について 地域コミュニティの核である学校施設のトイレや手すり、出入口の段差解消など、受け入れ側に問題は無いのか？	古い建物が多く、ハートビル法を中心とした社会的弱者に対する法整備が遅れているものとなっており、計画的に整備を進めている
	宇治市外の中学校への進学状況について H5年度から12年度までは、総数の7%前後を推移していたものが、H13年度は9.04%、H14年度は10.43%、今後、さらに公立離れが予測される、「魅力と特色ある学校づくり」が求められているのではないのか？	現時点で考えられる要因として、私学中学校の募集定員の増加や新設校、男女共学、中高一貫校など選択幅の変化 「魅力と特色のある学校づくり」として、校長を中心に「オンリーワンの学校」を目指してしている
福祉行政	空き教室利用について 小倉小・平盛小以外で、空き教室の福利利用は進んでいないが、今後少子化が進んでいくことは確実であり、学校施設のリサイクルという観点からも取り組むべき課題ある、市内部での空き教室情報など情報の共有化は進んでいるのか？	空き教室の有効活用は第3次行政改革の中で学校教育の多様化への対応や地域活動の場として活用を図ってきた、これからも関係部局と連携を図り、必要な時に必要な情報が伝達できるよう連絡を密にする
	障害者福祉について 障害者福祉と老人福祉には福祉行政として格差があるのではないのか、きめ細やかな実施計画を策定するためにも障害者の実数を把握する必要がある 宇治市障害者福祉計画、策定より5年が過ぎ年次ごとの数値目標も含め見直しが必要 グループホームの建設補助は考えられないのか？	身体障害者7958人、知的障害者954人と障害者手帳の発行数で判断できるが、精神障害者数はいろんな事情で実数は把握できていないが、2000人程度と推計 本市の基本計画も来年度は12年計画の折り返し年度であり、見直し時期と認識 基本的に国の補助制度と行うべきものと考え、府を通し国に強く要望している
環境行政	ゴミの減量化について 3R（再使用・発生抑制・再資源化利用）を基本とする循環型社会を目指した取り組みは当市でも始まっているが、ゴミの減量化に取り組んでいる環境市民の増加は今の啓発方法では限界、より市民参加型として取り組む必要があり、インセンティブとペナルティをバランスよく使い分けていく事が必要だが市の見解は？	市民団体等と協力してゴミ減量化に取り組む事は、まさに、これからの環境政策の在り方を示唆 ゴミ減量化のインセンティブとして古紙回収報償制度を推進、更なる施策に対しては市民の総意をもとに理解と協力が必要、十分に研究する
	校庭の芝生化について 温暖化の有効な解決策として実績のある校庭の芝生化に行政として取り組む事は考えられないのか？	緑化は地球温暖化の防止策として大きな効果があると認識 グラウンドの利用状況や維持管理上解決すべき課題が多くある現状では行政としての実施は困難だが、学校独自で芝生化に取り組む事には異論は無い
宇治市の 危機管理体制	耐震性に問題がある小・中学校が避難所として指定されているが、安全性について市の見解は？	教育委員会の耐震調査結果を見た上で可否判断を行う
	安全性に問題が無ければ、民間施設の積極的な利用を進めてはどうか？	昨年度より、市以外の施設も避難所としてお願いしている、今後も計画的に増やしていく

議長

演台

速記

市長

理事者

議員

傍聴席

議員バッジ

重量 7g
直径 18mm
厚み 7mm

平田

最前列

民主市民ネット

活動日記《抜粋》 当選～2003年6月末

4月 APR

- 27日 1,822票で初当選！ありがとうございます
- 28日 JR黄檗駅で当選後初の駅立ち
- 29日 連合南山城メーデーに出席
- 30日 市役所で当選証書、議バッジ、議手帳の授与

5月 MAY

- 6日 「民主市民ネット」会派会議
- 11日 第3回宇治市市民総合体育大会の開会式に出席
- 13日 議員全員協議会
- 14日 新人議員研修会、1日目 講義
- 15日 新人議員研修会、2日目 講義・施設見学
- 25日 大和田地区区民運動会

6月 JUN

- 26日 横島福祉センターの竣工式に出席
- 28日 臨時議会、市民環境常任委員に決定
- 1日 西陣中央小学校の校庭芝生化運動の視察
- 13日 6月定例議会、開会会期(7月3日迄)
- 14日 民主党区幹事会及び拡大幹事会に出席
- 15日 《ひらたネット設立会議》
- 17日 議員全員協議会
- 20日 議会・一般質問(1日目)
- 23日 議会・一般質問(2日目)
- 24日 議会・一般質問(3日目)ひらた研一初質問!
- 27日 市民環境常任委員会
- 30日 木幡中学校「福祉のまちづくり懇談会」に出席

編集後記

初めての議会報告(ひらたニュース)いかがでしょうか？文字が多くて、読み難いとのお叱りが目に浮かぶようです。創刊号ですので、広い心でお読み下さるようお願いいたします。議員の仕事も、想像以上にハードです。(まだ3ヶ月で判断するのは早い?)
政治の世界で、マニフェストということがブームになりつつあります。
しかし私の専門、建築設計では、予算があり期限があるのは当たり前です。何より顧客に納得して頂かなければ意味がありません。
政治は特別なものではない、という事を実証する為に皆さまの厳しい意見をお待ちしております。

統一自治体選挙後の挨拶行為は、公職選挙法で制限されています。失礼をお許しください。